

## \*\*\* 今日の健康 (6月) \*\*\*

### ＜こどもと単純ヘルペスウイルスⅠ型＞

ヘルペスは、ウイルスが原因となって起きる病気です。ヘルペスウイルスにはいろいろな種類があり、それぞれ異なった病気を引き起こします。

主なヘルペスウイルス	病気	
単純ヘルペスウイルスⅠ型	口唇ヘルペス、ヘルペス性歯肉口内炎、ヘルペス性角膜炎、カポジ水痘様発疹症、ヘルペス性脳炎	
単純ヘルペスウイルスⅡ型	性器ヘルペスなど	
水痘・帯状疱疹ウイルス	水痘、帯状疱疹	
ヒトヘルペスウイルス6型	突発性発疹	
その他：サイトメガロウイルス、EBウイルス、ヒトヘルペスウイルス7型、ヒトヘルペスウイルス8型		

ヘルペスウイルスは感染力が強く、直接的な接触以外にもタオルや食器などを介して感染することがあります。一度感染すると症状としては治っても身体の神経節などにウイルスが潜んでいて、風邪などで体調が悪化した際にウイルスの活動性が高まって再発します。ヘルペスウイルスを保有しているご両親は症状がなく健康な時もウイルスを排泄していることがあります。赤ちゃんに離乳食を与えるときなどに口移しをしたりしないようにしましょう。

ヘルペスは初めての感染時には無症状のことが多く、乳幼児で症状が現れるのは10%前後といわれています。ヘルペス性歯肉口内炎は、乳幼児に最も多く見られるヘルペス初感染の病名です。

アトピー体質の子供は年々増加傾向にあります。アトピー性皮膚炎の皮膚は抵抗力が弱く、ヘルペスウイルスに感染すると皮膚炎のあるところに水疱が広がりやすく重症化する傾向がみられます。口唇ヘルペス、ヘルペス性歯肉口内炎にかかった場合は、ウイルスが口や歯肉の患部から皮膚の別な場所に感染しないように、患部の水疱に触らないようにしましょう。

熱がでるのは身体がウイルスと闘っている証拠でもありますから、子供のきげんがよく熱による苦しさがなければ無理に解熱させる必要はありません。解熱させても37.5度位にしましょう。好きな食べ物や飲み物を数回に分けて与えるようにし、ぬるめのお湯やイソジンで頻繁にうがいして口の中を清潔にしましょう。解熱しても体力や抵抗力は低下しています。症状が落ち着くまでは外出を控えましょう。また、治癒後3～4週間は、予防接種は控えましょう。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏